

守りくのみをたてておく
いふまゝにありては
神はつとまじりて
山はつとまじりて
海はつとまじりて
空はつとまじりて
地はつとまじりて
人をつとまじりて

南風

新文

新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし

新文

新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし

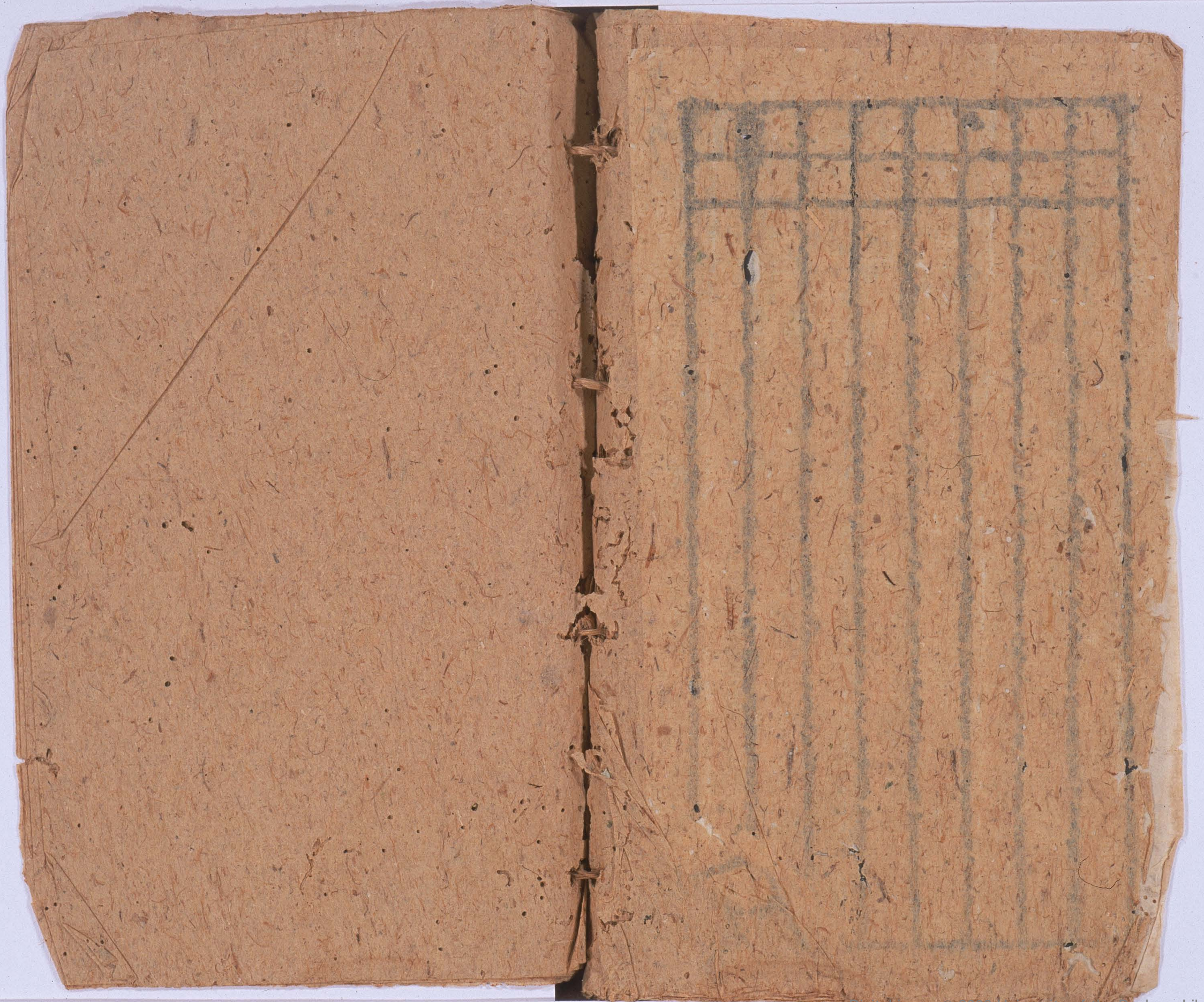
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし

新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし

新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし

新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし

新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし
新文のあらはしめし



此の丁以降次の記述がある丁まで
撮影を省略します。

撮影省略丁数

七十二丁



老人村

子年

膝

書

子年

